

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4836387号
(P4836387)

(45) 発行日 平成23年12月14日(2011.12.14)

(24) 登録日 平成23年10月7日(2011.10.7)

(51) Int.Cl.	F I
B 6 5 D 83/08 (2006.01)	B 6 5 D 83/08 A
A 4 7 K 10/42 (2006.01)	A 4 7 K 10/42 A
B 6 5 D 43/06 (2006.01)	B 6 5 D 43/06
B 6 5 D 43/16 (2006.01)	B 6 5 D 43/16 Z

請求項の数 10 (全 7 頁)

(21) 出願番号	特願2001-580165 (P2001-580165)	(73) 特許権者	590003065
(86) (22) 出願日	平成13年3月19日 (2001.3.19)		ユニリーバー・ナームローゼ・ベンノート
(65) 公表番号	特表2003-531780 (P2003-531780A)		シヤープ
(43) 公表日	平成15年10月28日 (2003.10.28)		オランダ国、3 O 1 3・エイエル・ロッテ
(86) 国際出願番号	PCT/EP2001/003096		ルダム、ヴェーナ 4 5 5
(87) 国際公開番号	W02001/083324	(74) 代理人	100062007
(87) 国際公開日	平成13年11月8日 (2001.11.8)		弁理士 川口 義雄
審査請求日	平成20年1月18日 (2008.1.18)	(74) 代理人	100105131
(31) 優先権主張番号	60/200,802		弁理士 井上 満
(32) 優先日	平成12年5月1日 (2000.5.1)	(74) 代理人	100113332
(33) 優先権主張国	米国 (US)		弁理士 一入 章夫
		(74) 代理人	100103920
			弁理士 大崎 勝真
		(74) 代理人	100117053
			弁理士 相馬 貴昌

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 詰め替え可能なペーパーパオル取り出し用物品

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

取り出し用物品であって、

床パネルと、前記床パネルから立ち上がって互いに対向する左および右側面パネルと、前記床パネルから立ち上がって互いに対向する前面および後面パネルと、前記床パネルに対向するデッキパネルとを有する容器本体であって、前記デッキパネルは、取り出し用開口部が形成された密閉部を含み、前記密閉部が、前記床パネルから離れて外向きに**かまぼこ形**になっている容器本体と、

前記本体に蝶番式に取り付けられており、閉じ位置で前記密閉部上に重なる蓋であって、プラグが前記蓋の内側表面から下向きに突き出し、不均一な深さを有し、前記蓋の閉じ位置で前記取り出し用開口部と係合可能である蓋と

を備える取り出し用物品。

【請求項 2】

前記デッキパネルが、前記密閉部の両側に左および右ショルダ部をさらに備え、前記ショルダ部の上側表面が、前記密閉部の上側表面の上に持ち上がった踊り場である請求項 1 に記載の物品。

【請求項 3】

閉じ位置の前記蓋が、前記左および右ショルダ部の間に嵌合するような形態をとる請求項 1 または 2 に記載の物品。

【請求項 4】

10

20

前記デッキパネルの下側表面の周辺に沿うリムポケットと、前記左側面パネル、右側面パネル、前面パネルおよび後面パネルの頂縁に沿う相補形リムフィンガとをさらに備え、前記リムポケットとリムフィンガが可逆的に係合可能であり、係合位置でシールを形成する請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の物品。

【請求項 5】

前記容器本体内に保持された品物を見ることができるよう、前記パネルのうちの少なくとも 1 つが少なくとも十分に半透明である請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の物品。

【請求項 6】

前記プラグの深さが、前記かまぼこ形の側面区域に沿ってよりも前記かまぼこ形の前面および後面区域に沿ってより大きい請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の物品。

【請求項 7】

前記プラグの深さが、前記かまぼこ形の前面および後面区域に沿ってよりも前記かまぼこ形の側面区域に沿ってより小さい請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の物品。

【請求項 8】

前記取り出し用開口部が、下向きに突き出る円形の係合リップによって画定される請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の物品。

【請求項 9】

前記係合リップが不均一な深さを有する請求項 8 に記載の物品。

【請求項 10】

前記係合リップの前記不均一な深さが、前記プラグの不均一な深さと相補う請求項 9 に記載の物品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

本発明は、詰め替えできるように構成されたペーパータオル取り出し容器に関する。

【0002】

薬品をしみ込ませたパッド、シート、およびティッシュ（ここでは総称してペーパータオル (towelette) と言う）は、確立した商品となっている。これらは一般に個人の衛生、化粧用、また家庭清掃の用途に利用されている。流体をしみ込ませた拭き取り繊維には、溶剤の蒸発を回避する包装が必要である。乾燥化成皮膜（例えば界面活性剤）をしみ込ませた乾燥ペーパータオルでは、保管期間中に空気中の水分を排除することが必要である。重ねられた含浸ペーパータオルの束を共通の容器にぎっしりと詰め込む場合、問題が生じる。

【0003】

単位体 (item) を 1 枚ずつ取り出すようにするには、単位体が乾ききったり、または不要な水分を吸収するのを防止するために、容器が再密閉可能であることが必要である。この技術の注目に値する進歩には、以下の開示がある。

【0004】

米国特許第 5,647,506 号では、製造後のティッシュの形状を維持するのに十分な剛性を有するハウジングから、交互に挿まれた水分含浸ティッシュを 1 枚ずつ取り出すための再密閉可能なディスペンサが記述されている。頂壁は、ハウジングからティッシュを 1 枚ずつ抜き取るためのオリフィスが設けられた陥凹部分を含む。

【0005】

米国特許第 5,379,897 号では、重ねられたティッシュの束を取り出すための、使い捨ての、緻密に詰め込むことができる包装容器が開示されている。この包装容器は熱成形物として生産することができる。タブ付きの再密閉可能なラベルが包装容器の底区域を覆って固定される。

【0006】

米国特許第 4,790,436 号では、ぬれティッシュ用の再密閉可能なディスペンサが開示されている。重ねられたティッシュの束を収容する変形可能なパウチが、ティッシュの大半が取り出された後も形状維持部材の助けによってたわみのない状態に保たれる。適

10

20

30

40

50

切な形状維持部材は、パウチを囲む外側ボックスを含むが、このパウチは、パウチ壁の萎みを防止するボックス屋根の下側表面に接着剤で固定される。第2の実施形態は、U字形フレームをパウチに挿入するものである。

【0007】

米国特許第5,531,325号では、再密閉可能なフラップによる開口部を備えた、交互に挿まれたティッシュを保管するパウチが記載されている。このパウチは堅固な外側容器に收容されるが、その容器は、閉じ位置で、容器の内容物と外気の間を空気が行き来するのを防止するのに十分に気密である。グルーストリップなどの滑り止め部材がパウチに取り付けられ、これが容器底部の穴から突き出て容器が支持表面で滑るのを防止する。

【0008】

ペーパータオル包装技術の商用表示には、流体含浸ティッシュディスペンサのKa o B i o r e (登録商標)がある。外側の比較的堅固なケースが、柔軟な箔包装のなされたティッシュの比較的柔らかい詰め替えパックを囲んでいる。外側ケースは頂壁および側壁を備えたカバー部分を有するのに対し、底壁は密閉可能かつ取替え可能にカバーの下側面にパチンと嵌め込まれる。上部カバーの頂壁内に、ペーパータオル取り出し用開口部および蝶番式蓋が作られる。水分の蒸発には、側壁と底壁の間の密閉と同様に、開口部に対する蓋の十分な摩擦密閉が必要である。このどちらの種類の密閉も十分に緊密となるようにするのは、常には容易ではない。特に、床壁はその密閉周囲が比較的広いので、側壁の底縁との密閉に細心の注意を要する。

【0009】

同様の構造上の問題を有する関連の包装容器が、S i l c o t 商標の下、日本市場でも市販されている。

【0010】

以上に選出して述べた技術から明らかなのは、水分や溶剤が密閉物を通過してどちらの方向にも移動することを防止するように十分な密閉を保証する、改良された、より効率の高い機構への必要性である。

【0011】

したがって、本発明は、重ねられたペーパータオルの束を、長期の保管期間中、特にティッシュを1枚ずつ取り出すために多数回にわたって開口した後も、重ねられたペーパータオルの束を外気から遮断された状態に維持することのできるペーパータオルディスペンサを提供する。

【0012】

本発明はまた、重ねられたペーパータオルの束の大半を取り出した後でも、ペーパータオルが満杯に詰められた最初の状態と実質的に同じように効果的に再密閉することができる、再利用可能な外側容器を備えたペーパータオル製品も提供する。

【0013】

本発明によれば、取り出し用物品、特にペーパータオル用の取り出し用物品であって、床パネルと、床パネルから立ち上がって互いに対向する左および右側面パネルと、床パネルから立ち上がって互いに対向する前面および後面パネルと、床パネルに対向するデッキパネルとを有する容器本体であって、デッキパネルが密閉部と、密閉部に形成された取り出し用開口部とを含み、密閉部が、床パネルから離れて外向きにドーム形(かまぼこ形)になっている容器本体と、

本体に蝶番式に取り付けられる蓋であって、閉じ位置で密閉部上に重なる蓋とを備える製品が提供される。

【0014】

さらに、本発明は、ペーパータオル製品であって、柔軟な重ねられたペーパータオルの束と、ペーパータオルを受け入れ、床パネルと、床パネルから立ち上がって互いに対向する左および右側面パネルと、床パネルから立ち上がって互いに対向する前面および後面パネルと、床パネルに対向するデッキパネルとを有する容器本体であって、デッキパネルが密閉部と

10

20

30

40

50

、密閉部内に形成された取り出し用開口部とを含み、密閉部が床パネルから離れて外向きにドーム形になっている容器本体と、
本体に蝶番式に取り付けられた蓋であって、閉じ位置で密閉部上に重なる蓋とを備える製品をも提供する。

【 0 0 1 5 】

デッキパネルは、密閉部の両側にある左右ショルダ部によってさらに画定される。各ショルダ部の上側表面は、密閉部上側表面の上に持ち上がった踊り場(landing)となっている。蓋は、閉じ位置で、左右ショルダ部間でぴったりと嵌るように形状を展開する。

【 0 0 1 6 】

プラグは蓋の内側表面から下向きに突き出る。蓋が閉じた状態にある時、プラグは取り出し用開口部の上に重なり、それと密閉を形成する。

10

【 0 0 1 7 】

デッキパネルの下側表面の周囲に沿ってリムポケットが形成される。相補形リムフィンガが、左、右、前面、後面パネルの頂縁に沿って形作られる。リムポケットとフィンガは可逆的に係合可能である。詰め替え用の重ねられたペーパーパールの束は、デッキパネルを取り外すと容器本体内に詰めることができる。詰め替えの後、デッキパネルを、リムポケットとリムフィンガの密閉係合によって再度取り付けることができる。

【 0 0 1 8 】

好ましくは、容器の少なくとも1つのパネル、より好ましくは全てのパネルが、重ねられたペーパーパールの束が見えるように十分に半透明である。このようにして、早期に詰め替えを行うべきかを決定することができる。

20

【 0 0 1 9 】

本発明の他の目的、特色、および利点が、以下の図を検討することによってより明らかとなる。

【 0 0 2 0 】

本発明の詰め替え可能なペーパーパールディスペンサは、効果的な密閉構成を備える。改良された構成によって水蒸気の移動を大幅に抑えることができる。ペーパーパールの取り出し用開口部を含むデッキパネル部が、上方に弓形になったかまぼこ形であるドーム状の区域として形成される。このドームにより2つの利点がもたらされる。第1に、ドームにより、平面の構成から得られる密閉よりも高度の密閉が可能になる。第2に、ドームによって、長さの短いプラグを使用することができる。短いプラグを用いるとプラスチック押出成形の工程によるひけマークが減り、それによって美観が向上する。

30

【 0 0 2 1 】

図1は、容器本体2とその本体に蝶番式に取り付けられた蓋4とを含む、取り出し用物品を示す。この容器は、床パネル6、左側面パネル8、右側面パネル10、前面パネル12、および後面パネル14を有する。左右側面パネルは互いに対向し、床パネルから立ち上がる。同様に、前後面パネルも互いに対向し、床パネルから立ち上がる。デッキパネル16は床に対向し、左右側面パネルと交わる。このデッキパネルは、左ショルダ部20および右ショルダ部22が両側にそれぞれついた密閉部18を含む。密閉部は床パネルから離れて外向きにドーム形となる。

40

【 0 0 2 2 】

各ショルダ部の上側表面は、踊り場19、23の形で密閉部上側表面の上に持ち上がっている。閉じ位置で、蓋は両踊り場の間にぴったりと嵌るように形状を取り、密閉部内に形成された取り出し用開口部24を覆う。蓋4には、その内側表面に、床パネルに向かって下向きに突き出るプラグ26が設けられる。プラグ26は円形構造であり、その直径は取り出し用開口部の直径より僅かに小さい。このプラグは、密閉部のドーム形に合うように不均一な深さとなっている。プラグ26の部位27fおよび27rは、ドームの最も高い(前面および後面)区域に沿って配置され、より深くなっている。プラグ26の部位27sは、ドームの最も低い(側面)区域に配置されて、より浅い。

【 0 0 2 3 】

50

下向きに突き出る円形の係合リップ 2 1 は、取り出し用開口部 2 4 を画定する。係合リップ 2 1 区域は、プラグ 2 6 の部位 2 7 の深さと相補って不均一な深さである。閉じ位置で、蓋はヒンジ 2 8 を介して密閉部の上に重なるが、その際プラグが開口部内にぴったりと係合することができ、気密密閉を保証する。タブ 2 9 が、蓋の外縁に沿って、下側表面に直行して形作られ、これがプラグの方向に離れて突き出る。タブは半円形の前縁 3 1 を有し、これが容器本体の前面パネルに係合することができる。

【 0 0 2 4 】

図示しないが、密閉部から上向きに突き出、取り出し用開口部に外接する相補形プラグを追加して備えることも可能である。蓋の閉じ位置で、両方のプラグセットが相互に係合して密閉特性を高めることになる。

10

【 0 0 2 5 】

リムポケット 3 0 が、デッキパネルの上側表面の周囲に沿って形成される。左、右、前面、後面パネルの頂縁に沿って、相補形のリムフィンガ 3 2 が形作られる。リムポケットとフィンガは可逆的に相互に係合可能で、係合位置で密閉を形成する。図 2 および 3 は、デッキパネルと他のパネルの間の摩擦による嵌め込み構成を最もよく示すものである。

【 0 0 2 6 】

デッキパネル 1 6 は、リムフィンガをポケットから外すことによって容器本体 6 から分離することができる。外した状態で、容器本体にペーパータオルまたは類似の取り出し可能な製品を補充することができる。その後デッキパネルを容器本体の上に戻し、全ての密閉を再び確立することができる。

20

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明による、取り出し用物品の平面斜視図である。

【図 2】 図 1 の線 2 - 2 による断面図である。

【図 3】 リムの密閉係合を表す図 2 の区域 A の部分拡大断面図である。

【符号の説明】

2 容器本体

4 蓋

6 床パネル

8 左側面パネル

1 0 右側面パネル

30

1 2 前面パネル

1 4 後面パネル

1 6 デッキパネル

1 8 密閉部

1 9、2 3 踊り場

2 0 左ショルダ部

2 1 係合リップ

2 2 右ショルダ部

2 4 取り出し用開口部

2 6 プラグ

40

2 7 f、2 7 r、2 7 s プラグの部位

2 8 ヒンジ

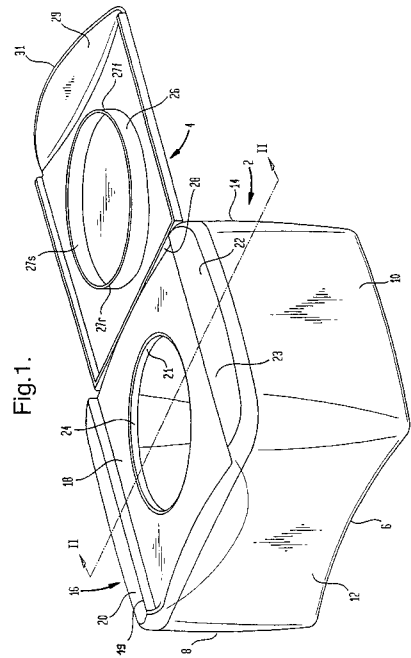
2 9 タブ

3 0 リムポケット

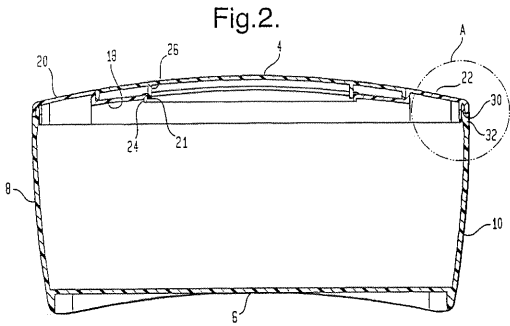
3 1 半円形の前縁

3 2 リムフィンガ

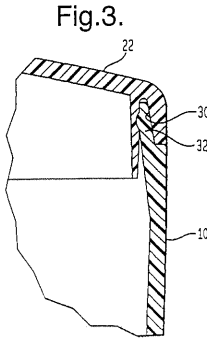
【図 1】



【図 2】



【図 3】



フロントページの続き

- (72)発明者 フレイグ, レイモンド・マイケル
アメリカ合衆国、コネチカット・06611、トランブル、メリット・ブルバード・40、ユニ
リーバー・ホーム・アンド・パーソナル・ケア・ユー・エス・エイ気付
- (72)発明者 テレスカ, ジョージフィーン
アメリカ合衆国、コネチカット・06611、トランブル、メリット・ブルバード・40、ユニ
リーバー・ホーム・アンド・パーソナル・ケア・ユー・エス・エイ気付

審査官 戸田 耕太郎

- (56)参考文献 特開平08-217110(JP, A)
特表2002-512827(JP, A)
特開平11-165777(JP, A)
特開平08-104377(JP, A)
特表2003-529505(JP, A)
国際公開第01/074687(WO, A1)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B65D 83/08
A47K 10/42
B65D 43/06
B65D 43/16